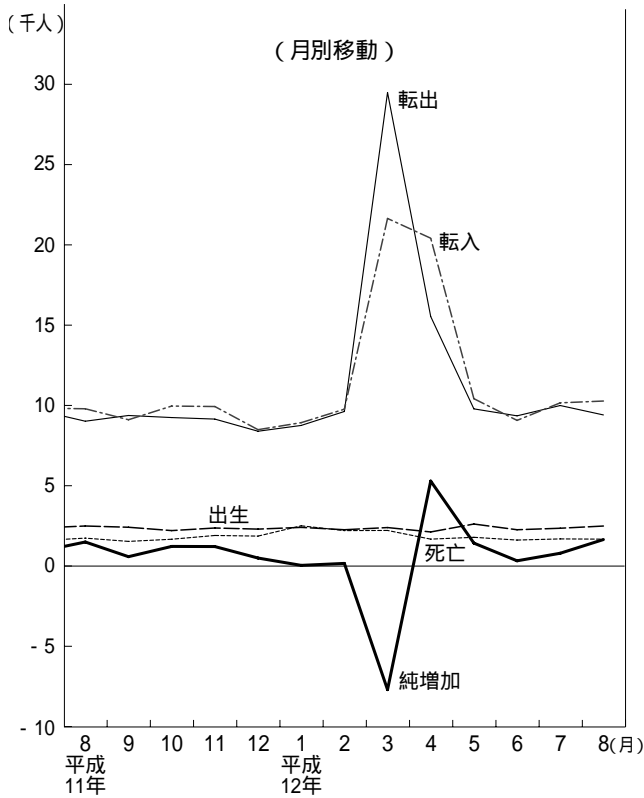


今月の主な動き

人口



人口（12年9月1日）（再掲）

8月の概況

本県の人口は、8月中に1,683人増加し、9月1日現在で3,004,266人（男1,498,902人，女1,505,364人）となった。

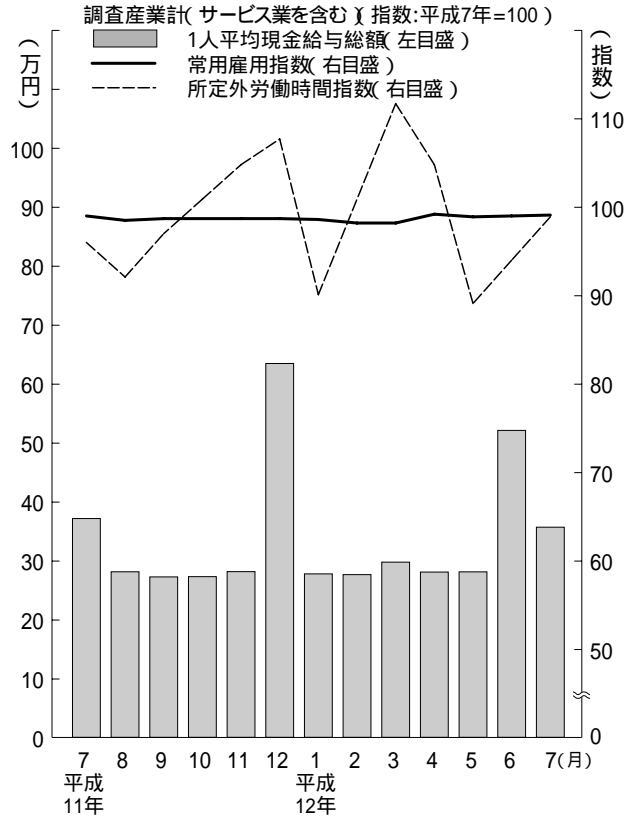
内訳は、自然動態で、817人（出生2,525人，死亡1,708人）増加し、社会動態で、866人（転入10,310人，転出9,444人）増加した。前年同月と比べると5,915人（0.2%）の増加である。

市町村別では、増加が16市33町村，減少が4市31町村，増減なしが1村である。

世帯数についても8月中に1,210世帯増加し，999,835世帯となった。

平成12年10・11・12月の各1日現在の結果は，平成12年国勢調査の速報値（公表12月下旬）をもとに集計するため，平成13年1月中旬頃の公表になります。

賃金・労働時間・雇用



賃金・労働時間・雇用（12年7月）

1．平均賃金の推移

7月の現金給与総額は，調査産業計で，356,462円，対前年同月比3.9%減であった。現金給与総額のうち，きまって支給する給与は270,432円，対前年同月比0.1%増であった。特別に支払われた給与は，86,030円であった。

2．労働時間

7月の総実労働時間は，調査産業計で，156.0時間，対前年同月比0.6%減であった。総実労働時間のうち，所定内労働時間は145.9時間，対前年同月比0.8%減であった。所定外労働時間は10.1時間，対前年同月比3.0%増であった。

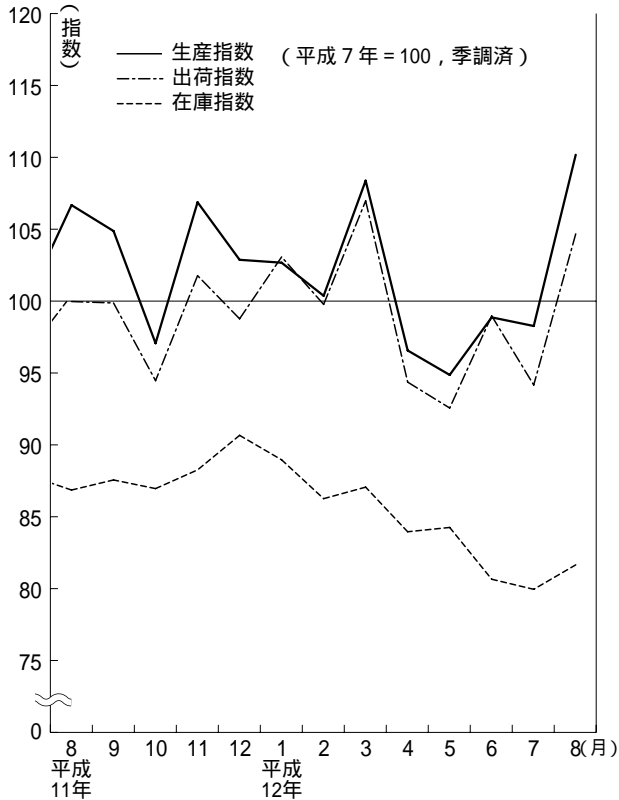
3．雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると，対前年同月比0.1%増であった。

この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお，事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数 生産・出荷・在庫

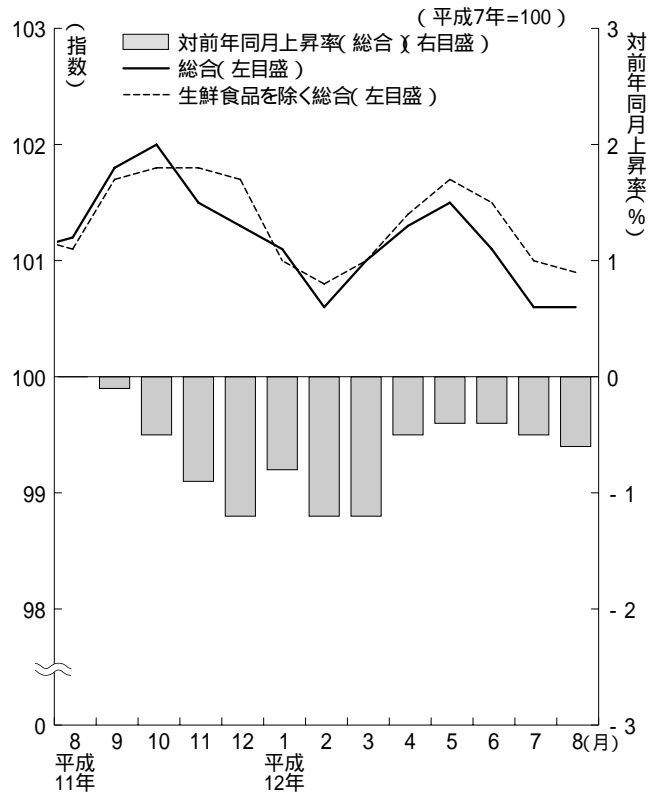


鉱工業指数 生産・出荷・在庫 (12年8月)

本県における平成12年8月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で生産が110.1、出荷が104.6、在庫が81.6であった。

- 1 生産の前月比は12.1%の上昇、前年同月比は3.3%の上昇であった。業種別に前月比をみると、一般機械工業、電気機械工業、繊維工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、非鉄金属工業、その他工業が低下した。財別にみると、耐久消費財、資本財等が上昇した。
- 2 出荷の前月比は11.2%の上昇、前年同月比は4.7%の上昇であった。業種別に前月比をみると、一般機械工業、電気機械工業、輸送機械工業等が上昇した。財別にみると、耐久消費財、資本財等が上昇した。
- 3 在庫の前月比は2.1%の上昇、前年同月比は6.0%の低下であった。業種別に前月比をみると、鉱業、パルプ・紙・紙加工品工業、一般機械工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、石油・石炭製品工業等が低下した。財別にみると、資本財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。

消費者物価指数



消費者物価指数 (12年8月)

平成12年8月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で100.6(平成7年=100)となり、前月と同水準で、対前年同月比は(-)0.6%の下落となった。

今月の上がった主な項目...生鮮魚介 8.6%
生鮮野菜 1.9%

今月の下がった主な項目...室内装備品(-)6.7%
洋服(-)3.9%

生鮮食品を除く総合は100.9となり、対前月比は(-)0.1%下落し、対前年同月比も(-)0.2%の下落となった。

費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.6	0.0	0.6	保健医療	111.6	0.1	1.0
食料	100.2	0.5	2.5	交通通信	98.1	0.4	0.9
住居	101.9	0.4	0.6	教育	109.1	0.0	0.7
光熱・水道	102.8	0.0	1.9	教養娯楽	98.4	0.6	0.3
家具・家事用品	92.8	1.4	3.7	諸雑費	102.4	0.0	0.1
被服及び履物	98.1	2.6	1.3	生鮮食品を除く総合	100.9	0.1	0.2